

ため池ハザードマップとは

ため池ハザードマップは万が一、ため池の堤体が壊れて池の水が全て流れ出したときにその被害範囲を地図化したものです。

このハザードマップは皆さんに、いつ、どこに、どうやって迅速かつ的確な避難をしてもらうか考えていただくため、浸水範囲、浸水到達時間、最大水深、避難場所などを記載しています。



ハザードマップの目的

日頃の防災意識を高める

万が一に備え、地域のみんなで考える

災害が起きたときに、すばやく的確な避難の行動

日頃から災害が発生した時、いつ、どこに、どのように避難するか意識しましょう。

地域の防災対策の基礎資料となります。また、災害による危険箇所等を地域で情報共有できます。

単に早く避難すればよいとは限りません。状況によって、避難しないほうがよい場合もあるので、マップを活用し判断しましょう。

ため池ハザードマップの活用方法(急な事態へ備えましょう)

①想定される浸水区域や深さなどを確認しましょう。

- はん濫水の水深や到達時間に応じた避難を考えましょう。
- 災害時の様々な事態を想定しましょう。



②避難場所を決めておきましょう。

- はん濫水の水深や到達時間により、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。
- 家族の連絡先を確認しておきましょう。



③避難場所までの避難経路を考えましょう。

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



④日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- 災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- 避難の際に支援が必要な方への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



⑤防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- 万が一の災害に備え、日頃から防災情報をどこで入手できるかを確認しておきましょう。



⑥市が公表している他のハザードマップもご活用ください。

- 市の洪水ハザードマップには、大雨に伴う河川のはん濫や、避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、備えましょう。

状況に応じた避難をしましょう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 表面のハザードマップで、自分の家の想定される浸水深を確認し、避難の方法を考えましょう。

【浸水の深さ】

0.5~3m 未満の浸水

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の場合、歩くことは危険

0.5m 未満の浸水

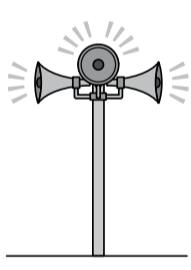
- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

自治体が発信している防災・災害情報は、こちら

自治体が被災を免れて正常に機能していた場合に限ります。

1 防災行政無線・広報車

防災行政無線や広報車は避難勧告や避難指示を出し、警報や注意報を流します。また、救援物資の配布場所や給水車が来る場所など生活に密接に関わる情報を流します。



2 自治体ホームページの灾害情報防災メール配信サービス

防災情報をケータイで受け取れます!

市では、災害などの緊急情報や行政情報を確実にお伝えするため、防災行政無線の内容をお持ちの携帯電話やスマートフォンに向けて発信しています。ご自身やご家族の身の安全・安心を確保するため、積極的に活用してください。

情報収集のときは、用途に合わせて以下のツールもご活用ください。

放送内容の音声案内

TEL 0475-50-1188

スマートフォン用アプリ

全国避難所ガイド

東金市役所2階 消防防災課
TEL 0475-50-1226



登録メール
東金市防災メール



ツイッター
公式アカウント
@touganebousai



LINE
公式アカウント
@touganecity



緊急時連絡先は、こちら

東金市役所(代表)	0475-50-1111	東金市東岩崎1番地1
公共機関	東金警察署	0475-54-0110
	中央消防署	0475-50-2500
病院	東千葉メディカルセンター	0475-50-1199

問い合わせ先

東金市 経済環境部 農政課 農業土木係
電話: 0475-50-1139

〒283-8511 千葉県東金市東岩崎1番地1
URL https://www.city.togane.chiba.jp/

※ため池ハザードマップは皆さんの目に付く場所に貼るなどして活用しましょう。